

「実存主義existentialisme」の先駆者



■Blaise Pascal (1623-62)

出所:http://en.wikipedia.org/wiki/Image:Blaise_pascal.jpg



■F.W.J. Schelling (1775-1854)

出所:http://de.wikipedia.org/wiki/Friedrich_Wilhelm_Joseph_Schelling

シェリングとは誰か(1)

—ドイツ観念論

シェリングとは誰か(2)

—自然哲学、観念論、同一哲学

シェリングとは誰か(3) —その晩年

実存主義の先駆としてのシェリング

神の三つの存在様態

—実存、実存の根拠、無底(Ungrund)

神の二重性

—「実存」とその「根拠」の完全なる調和・統一

人間の二重性

—実存とその根拠は分裂と統合の狭間を揺れ動いている

自由と悪の根源

神の第三の存在様態：「無底 (Ungrund)」

—神の実存とその根拠の二元性のゲネシス

救済装置としての「無底」

京都学派と「無底」

シェリングにおける神

—「知性」と「感情」の葛藤・分裂をもち、「愛と救済」を必要とする神？

シェリングにおける本質と実存

キルケゴールとは誰か



Søren Aabye Kierkegaard

1813-1855

デンマークの思想家・
「文学者」

キルケゴールの実存(at existere)

一人間に固有の存在様態としての実存

「実存領域」(生き方)の選択

—美的生活、道德的生活、宗教的生活

美的生活与道德的生活

宗教的生活

宗教と道徳

—近代啓蒙主義との対立

感情分析

—絕望、罪惡感、不安、信仰、愛

キルケゴールにおける実存と本質①

一人間の「本質」を生み出すものとしての「実存」、
意志による「実存」の選択

キルケゴールにおける実存と本質2

—「客觀」の領域から「個人」の領域へ